



公共施設再編ゲーム説明書

【テーマ】

★市民の皆様が考える機能別の方向性

★市民の皆様が再編を検討するうえで重要とする視点

公共施設再編ゲームの目的

- 公共施設再編ゲームは、具体的に“再編”をどのように検討するものなのか、仮想施設を使用して再編手法を体験していただくことを目的としています。
- 最後にグループで再編の検討結果を発表していただき、ゲームの中で皆様が考えた機能別の方向性や、再編を検討するうえで重要とした視点を確認し、実際の再編の検討に活かしたいと考えています。

①機能別の方向性の検討

資料3「機能別の方向性の検討資料」を用いて、皆様が考える機能別の方向性について検討し、グループの意見をまとめてください。

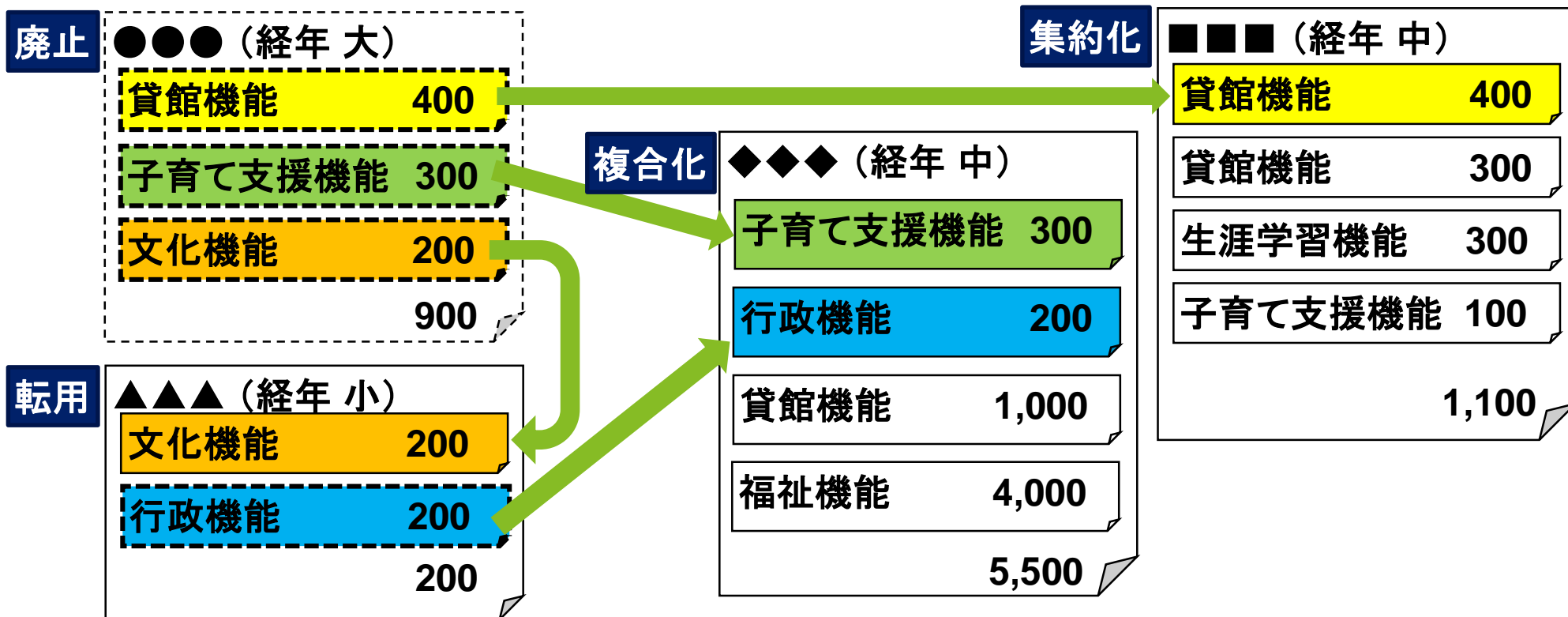
No.	サービス機能	内容	主な施設分野	主な利用者	効果的な他機能との組み合わせ	40年後（R42）の利用者層の人口変化 ※H27との比較	市のコメント	市民の皆様が考える機能別の方向性	配置レベル
1	行政機能	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きを申請する 行政に相談をする 証明書等を受け取る 	市庁舎出張所	行政サービスを必要とする市民	-	【総人口増減】 ▲12% 長期的には利用者数が減少	<ul style="list-style-type: none"> 今後も変わらず市民からのニーズが求められる機能である。 情報技術の革新（オンラインやキャッシュレス機能）によりサービス提供が変化していく可能性があるため、出張所の必要性は中長期的には低くなることが考えられる。 	増加 現状維持 減少	市域
2	図書機能							増加 現状維持 減少	市域
3	生涯学習機能							増加 現状維持 減少	地域

機能別の方向性について、「40年後の利用者層の人口変化」や「市のコメント」を参考に、各機能におけるサービス提供量を将来どうしていけばよいのか、皆様のお考えを記載してください。

方向性については、「増加」、「現状維持」、「減少」の3つから選択し、その判断理由についてもグループの考えをまとめてください。

②施設再編の検討

- 公共施設再編ゲームの対象施設一覧に記載されている施設について、皆様が考えた機能別の方向性を踏まえ、総延床面積の削減目標値を定め、再編を検討してください。
- 市では公共施設の総延床面積10%削減を計画で位置付けています。



公共施設再編ゲームの基本ルール

- 「サービスカード」の延床面積の合計は、「施設カード」の延床面積に収める必要があります。
- 「施設カード」から保有するサービス機能を廃止、または移動する場合は、「サービスカード」を取り除くことができます。
- 面積に余裕がある施設に「サービスカード」を追加することで、サービス機能の複合化や集約化などができます。
- 「サービスカード」がなくなった施設は、廃止したり、新たな「サービスカード」を追加することで異なる施設に転用できます。
- 「施設カード」と「サービスカード」は新たに作成することで、施設の新築やサービス機能の拡充ができます。ただし、設定した総延床面積の削減目標値の範囲内となることに留意してください。

グループ発表のイメージ

例えば・・・

- ・文化機能は“減少”の方向性としていたため、300㎡の小規模なものは廃止（他施設に大規模なものあり）
- ・空いたスペースは、老朽化した▲▲▲が担っていた生涯学習機能を拡充したうえで移転
- ・生涯学習機能の追加は、貸館機能の利用促進にもつながる。

<再編前の施設>

●●● (経年 小)	▲▲▲ (経年 大)
文化機能 300	生涯学習機能 500
子育て支援機能 200	貸館機能 150
貸館機能 700	
1,500	800

再編したもの		変更したもの		廃止したもの	
カード	理由	サービスカード	変更面積	施設カード	削減面積
●●● (経年 小)	XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX	生涯学習機能 500	増300	▲▲▲ (経年 大)	800
生涯学習機能 800		文化機能 300	減300		
子育て支援機能 200		貸館機能 150	減150	合計	800
貸館機能 700					
1,500→1,700					